

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和7年度(2025年度)第2四半期実績評価

1 利用の承認等に関する業務(第1号)

- ・この四半期の来館者数は3,412人で、昨年度の同四半期来館者数3,385人と同程度だった。
- ・特別利用の申請に対し、適正に対応した。(承認件数:貸出1件、熟覧2件、原版使用2件)

2 施設及び設備に関する業務(第2号)

- ・保守点検及び清掃について、適切に実施した。

3 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務(第2号)

- ・美術品の適切な温湿度管理を実施した。
- ・作品棚卸し(所在確認)を7月17日、8月21日、9月18日に実施した。
- ・鏑木清方の日記について翻刻を行った。
- ・鏑木清方や関連人物・事項について調査を行った。

4 美術館の事業の企画及び実施に関する業務(第3号)

・7月5日から8月24日までは、企画展「《朝夕安居》大解剖!—清方えがく、夏の暮らし—」を開催した。明治の夏の風情と平和な暮らしを感じさせる作品《朝夕安居》をはじめ、東京の街並みや風俗を詳しく紹介する展示であった。8月30日から9月30日までは、企画展「《朝涼》ができるまで—清方芸術の前半生—」を開催した。大正期の作品を中心に、代表作《朝涼》の製作にいたるまでの道のり、そして模索の末に見出した《朝涼》の表現法を詳しく紹介し、《朝涼》を新たな視点で鑑賞することのできる展示であった。

- ・展示解説やワークショップを開催し、教育普及に努めた。

(実施内容)

- ・展示解説 合計20回(参加者196人)
 - ・夏休み親子鑑賞 7月5日～8月24日(155人)※夏休み期間の小中学生と同伴者の利用が無料
 - ・親子ワークショップ 7月30日(31人)
 - ・子ども参加プログラム 7月29日、7月31日、8月6日、8月7日(54人)
 - ・日本画ワークショップ 9月20日(19人)
- ・チラシ、ポスター等の作成及びSNSの活用により、美術館の活動周知を積極的に実施した。
- ・9月9日から15日まで、地下道ギャラリー50において子ども参加プログラムの作品を展示した。

5 その他市長が定める業務等(第4号)

- ・法令を遵守し、適正な美術館の運営を行った。
- ・定められた期日までに例月の指定管理業務報告書を提出した。
- ・市と連絡調整を適切に行った。

6 全体評価

・この四半期の来館者数は来館者数は3,412人で、昨年度の同四半期来館者数3,385人と同程度と言える。酷暑であったが、子どもと同伴者は無料とする「夏休み親子鑑賞」や、夏休みの子どもを対象にしたプログラム、中高生向け鑑賞イベント、さらに、子どもたちが美術館で楽しく過ごすための動画上映など、普及事業を積極的に実施しており、夏休みという時節に応じた取組がなされた。

・企画展「朝涼」ができるまでは、スケッチや下絵などの資料を多く保有し、調査研究に力をいれている美術館ならではの企画であり、作品を掘り下げ、制作に至るまでを知る鑑賞を提示した。そのほか対話型鑑賞や手話付き展示解説等の多様な鑑賞方法を展開し、様々な人に鏑木清方の魅力を伝えることに取り組んだ。

・7月30日に発生した津波警報では、公共施設として市と連携し、帰宅困難となった来館者に適切な対応を行った。

・作品及び資料の調査研究を引き続き計画的に進めるとともに、その成果をより多くの方々に伝えていくよう積極的に取り組まれない。

・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

※評価の項目は条例第4条第1項の各号に準じる。